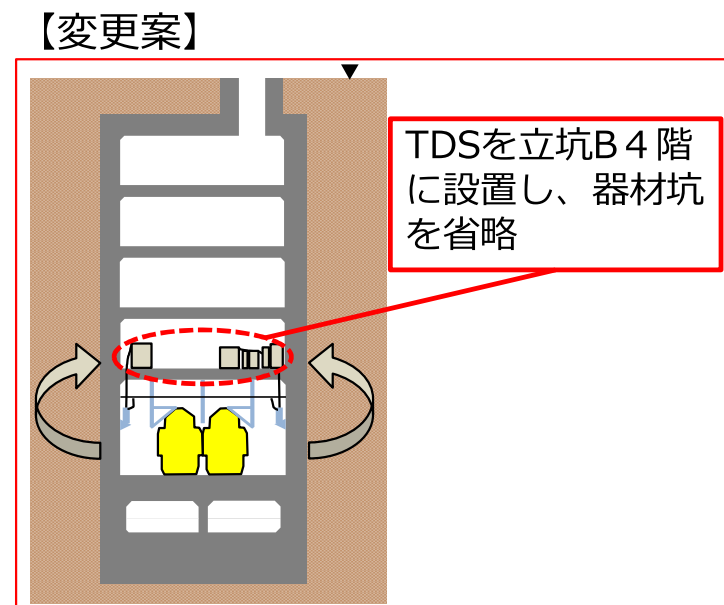
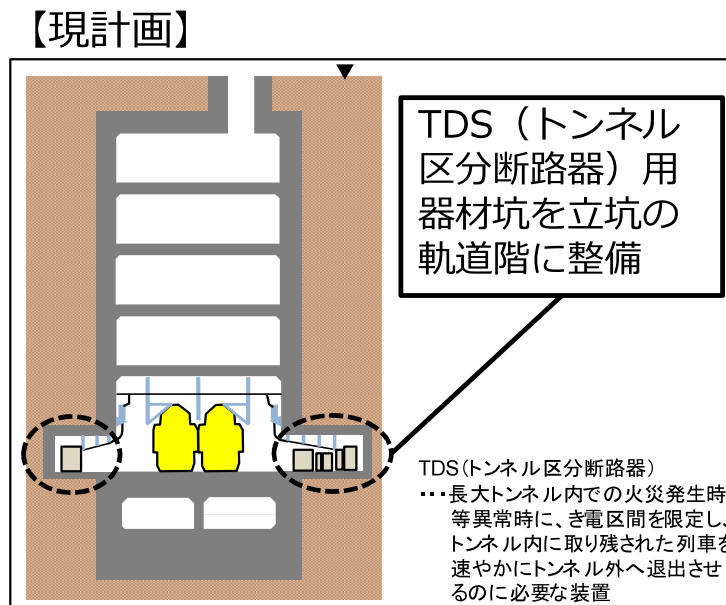
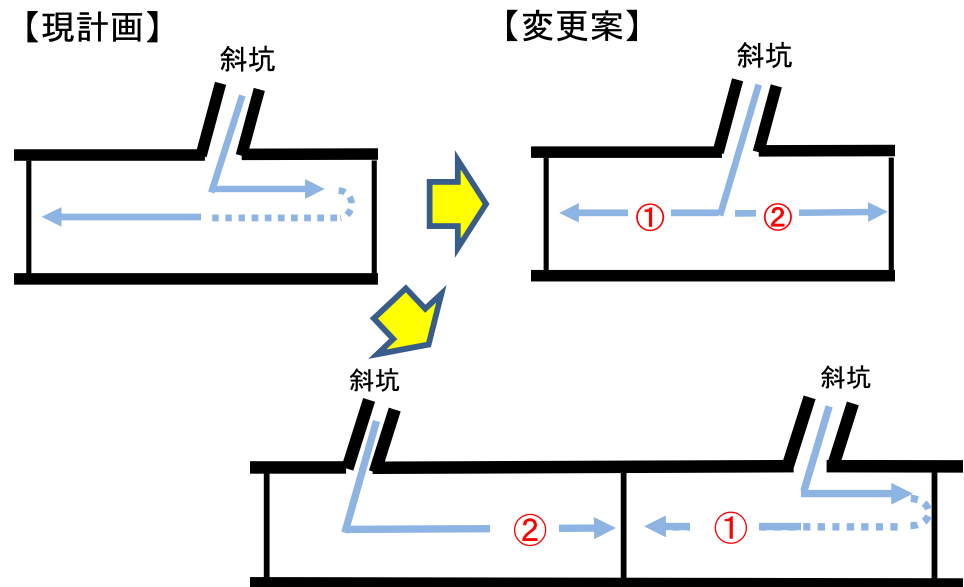


3. 工程の工夫

遅れの程度・影響を軽減する工夫の主なものは以下の通り

- (1) 2方向同時掘削
1方向だけでなく、2方向を同時に掘削
- (2) 覆工コンクリートの作業サイクル高速化
短時間で強度が発現するコンクリートを用いた作業サイクルの高速化
- (3) 器材坑の配置計画の見直し
一般的な軌道階に配置する計画であった器材坑を立坑内に移動



3. 工程の工夫

-明かり工事-

遅れの程度・影響を軽減する工夫の主なものは以下の通り

(1) 冬季養生実施による(12月)作業の実施

明かり工区の一部の工区において、12月は冬季養生を実施することとし、冬期休工を1月-3月の期間に短縮する。

冬季養生のイメージ写真



(2) 駅ホーム桁のプレキャスト化

通常、現場打ちであるホーム桁コンクリートについて、作業が煩雑で期間がかかることから、工場で分割製作し、現地で設置・組立を行うことにより、遅れの程度・影響の軽減を図る。

